

日本腐植物質学会のロゴマーク公募のお知らせ

日本腐植物質学会(以下、本学会)では、創立 40 周年を記念し、さらなる発展を目指して、学会の理念・目的を象徴するロゴマークを公募いたします。採用されたロゴは、本学会の象徴として、公式ウェブサイトや学会誌、広報活動などさまざまな場で使用される予定です。

皆様の創造力あふれる作品を心よりお待ちしております。

応募要項

1. テーマ

本学会の理念・目的と、未来への発展を象徴するデザイン。

2. 学会概要

別紙資料 1(本紙後欄に付記)をご参照ください。

3. 応募資格

どなたでも応募いただけます。

4. 提出形式

- (1) 1作品につき1ファイル。ファイル形式は、JPEG、GIF、pdf形式とし、画像サイズは300dpi以上で10MB(メガバイト)以内で作成してください。
- (2) フルカラーおよびモノクロバージョンを用意してください。
- (3) お一人で複数作品の応募も可能です。

5. 応募方法

- (1) 応募作品と以下の必要事項をメールに添付してご提出ください。
 - 1) お名前(グループの場合は代表者名)
 - 2) ご連絡先(メールアドレスおよび電話番号)
 - 3) デザインの意図やコンセプトについての説明(100~200文字程度)
 - 4) デザインファイル(添付)

6. 応募締切

2025年3月31日(必着)

7. 選考方法

提出された作品は、本学会の役員会で審議の上、採用作品を決定します。結果は2025年5月中旬に学会ウェブサイト上で発表予定です。なお、該当作品がない場合には再公募を行うことがあります。

8. 賞

採用者には、賞金10万円を贈呈いたします。

9. 注意事項

- (1) 応募作品は未発表のオリジナル作品に限ります。
- (2) 採用作品の著作権は学会に帰属します。
- (3) 採用作品は、必要に応じて学会側で修正したり、採用者に修正等を依頼する場合があります。

10. 応募先およびお問い合わせ

応募やご質問等につきましては、以下までお問い合わせください。

email: maie@vmass.kitasato-u.ac.jp (北里大学獣医学部 眞家永光)

皆様のご応募を心よりお待ちしております。

学会概要

腐植物質は、環境中で植物や微生物の遺体や代謝産物から二次的に生成する暗色不定形有機物の総称であり、土壌・水・堆積物および大気中に遍在し、地球上の有機炭素の大部分を占めるとともに、物質循環の中で重要な役割を果たしています。また、腐植物質の起源物質および生成・続成・分解各過程が多岐にわたることから、存在する環境によって多様な構造特性を示します。そのため、腐植物質の生成、構造、反応、機能に関しては未だ体系的に理解されていない状況にあります。

腐植物質に関する研究は、土壌有機物に関する研究に端を発しました。土壌有機物は、土壌生成に深く関係するとともに、土壌の物理的、化学的、生物的諸性質ならびに肥沃性を規定しています。その主成分である腐植物質に関する研究は、伝統的に土壌有機物に含まれる腐植物質を研究の中で行われてきました。その後、堆積物中に多く含まれ、石油の前駆物質とも考えられるケロジェンや、水環境中で各種金属元素や有機化合物の溶解性・移動性・生物利用(吸収)性の制御因子となっている有色の溶存有機物も腐植物質として位置づけられるようになりました。特に水環境におきましては、生態系の構造や物質循環を理解する上で、腐植物質に分類することのできない天然有機物も考慮する必要があることから、近年では、土壌環境のみならず、堆積物、天然水、大気中などあらゆる環境中の有機物全般が研究対象となっています。

以上のような背景のもと、本学会は、腐植物質を含む自然界中の有機物の構造、動態、反応、機能を体系的に理解し、環境・資源・食糧・健康に関わる諸問題の解決に帰することを目的として、農学、理学、工学、医学など異なる分野に属する研究者が知識の交流をはかり、自由な討論の場をつくることを目的として活動しています。